

- 問1 奈良時代において、聖武天皇が東大寺に大仏を造営し、全国各地に国分寺や国分尼寺を建立した背景にある、天平文化の大きな特徴となった考え方はどのようなものですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 仏教の力によって、伝染病や社会の混乱から国家を守ろうとする考え方
  2. 厳しい修行によって個人の悟りを開き、現世の利益を追求する考え方
  3. 貴族が浄土への往生を願い、阿弥陀如来にすぎること救いを求める考え方
  4. 古来の神々と外来の仏が同一のものであるとして調和を図る考え方
- 問2 古代の日本における地方統治の仕組みについて、日本海側の交通や軍事上の拠点として重要視された佐渡島に置かれた行政単位に関する説明として、正しいものを選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 西海道の一部として、九州地方の防衛を担う拠点の一つに位置づけられた。
  2. 東山道に属し、内陸部の信濃国や上野国と密接な行政関係を持っていた。
  3. 五畿七道の北陸道に属する令制国として、島全体が「佐渡国」と定められた。
  4. 山陰道に属する令制国として、隠岐諸島とともに一つの行政単位を構成した。
- 問3 墾田永年私財法が制定されたことによって、それまでの「公地公民」の原則に基づいた土地制度にどのような変化が生じましたか。その歴史的な影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 土地の永代私有が認められたことで、貴族や寺社による大規模な私有地が形成され、公地公民制が崩れ始めた。
  2. すべての土地を国が管理する方針が強化され、農民への口分田の割り当てがより厳格に行われるようになった。
  3. 土地の売買が完全に自由化されたため、貧富の差がなくなり、班田収授の法が円滑に運用されるようになった。
  4. 土地を所有する権利が農民に平等に与えられたことで、貴族の権力が弱まり、武士が台頭するきっかけとなった。
- 問4 奈良時代の文化について説明した文章として、正しいものはどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 宋に渡って禅宗を学んだ道元が、越前国に永平寺を建立して厳しい修行による悟りを説いた。
  2. 聖武天皇の遺品が東大寺の正倉院に納められ、シルクロードを通じて伝わった西アジアの工芸品などが現代に伝えられている。
  3. 足利義満が明と貿易を開始し、勘合を用いることで倭寇と正式な貿易船を区別して経済的利益を追求した。
  4. 大陸から稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、強力な勢力を持つ王が各地に現れるようになった。
- 問5 ある天皇が発した命令文の中で、「人々の救済や仏教を盛んにするために、金銅の大仏を一体造る。このことを全国に知らせ、私の気持ちを皆に知ってほしい」という趣旨の内容が記されています。この命令を出した、東大寺の大仏造立を命じた人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 聖武天皇
  2. 桓武天皇
  3. 天武天皇
  4. 推古天皇
- 問6 奈良時代、人口の増加によって律令制に基づく口分田が不足したため、聖武天皇は743年に新たな土地制度を定めました。開墾した土地を永久に自分のものにしてよいと認めたこの法律の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 公地公民の制
  2. 三世一身の法
  3. 墾田永年私財法
  4. 班田収授法
- 問7 大化の改新から奈良時代にかけて確立された、土地と人民はすべて国家のものとする「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に一律に貸し与えられた土地を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 口分田
  2. 位田
  3. 名田
  4. 墾田
- 問8 奈良時代、聖武天皇のころに栄え、遣唐使によってもたらされた唐の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化を何というか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 国風文化
  2. 飛鳥文化
  3. 天平文化
  4. 白鳳文化
- 問9 藤原京や平城京などの都の跡地からは、当時の社会制度や人々の生活を知る手がかりとなる「木簡」が多数出土しています。この木簡が、歴史研究において果たしている役割についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 庶民が寺子屋で読み書きを練習するための教科書として利用されており、当時の識字率の高さを示す証拠となっている。
  2. 大陸との外交交渉に使われた公式文書として、唐の皇帝とのやり取りが記されており、遣唐使の派遣ルートを解明する手がかりとなっている。
  3. 武士が戦功を報告するための報告書として利用されており、封建制度における土地支配の仕組みを具体的に示す史料となっている。
  4. 地方から都へ納められた特産品などの荷札として、産地や品名が記されており、租・庸・調などの税制の実態を裏付ける史料となっている。
- 問10 律令制度のもとで、戸籍に基づいて6歳以上の男女に「口分田」という土地を与え、その人が亡くなると国に返還させる仕組みを何といいますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 三世一身の法
  2. 公地公民の制
  3. 班田収授法
  4. 墾田永年私財法
- 問11 奈良時代に整えられた律令制度において、各地の特産物である絹や糸、布、または海産物などを都まで運び、中央政府に納める義務があった租税を何といいますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 租
  2. 調
  3. 雑徭
  4. 庸
- 問12 754年に、5度の失敗や失明という困難を乗り越えて唐から来日し、唐招提寺を建立して日本の仏教における戒律の制度を整えた人物は誰ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 道鏡
  2. 行基
  3. 鑑真
  4. 空海
- 問13 平城宮跡から出土した木札に、「肥前国神埼郡（現在の佐賀県付近）から、都へ納める綿（わた）である」という内容が記されていた場合、この「綿」のように地方の特産物を都へ納める税制度を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 防人
  2. 庸
  3. 租
  4. 調
- 問14 8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 上方を中心とする豊かな町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などが発達した華やかな文化。
  2. 仏教による国家の安定を願い、遣唐使がもたらした唐の文化や西アジアの要素を取り入れた国際色豊かな文化。
  3. かな文字が普及し、日本の風土や日本人の感情に合った、貴族中心の優雅で国風な文化。
  4. 禅宗の影響を受け、茶の湯や水墨画、書院造といった簡素で深い味わいをもつ東山文化。